

研究・調査報告書

分類番号	報告書番号	担当
A-133	13-037	滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門
題名 (原題/訳)		
Characteristics of predrinking and associated risks: a survey in a sample of German high school students. 未成年飲酒とその関連リスクの特徴：ドイツの高校生における調査		
執筆者		
Wahl S, Sonntag T, Roehrig J, Kriston L, Berner MM.		
掲載誌		
Int J Public Health. 2013 Apr;58(2):197-205. doi: 10.1007/s00038-012-0409-2.		
キーワード		PMID
アルコール、前飲み、予防、大量飲酒、オンライン質問票		23007874
要 旨		
<p>目的： 本研究の目的は、大規模データベースを用いて新しい、潮流である predrinking の予測因子を明らかにすることである。Predrinking とは、夜パーティーあるいはバーやディスコに出かける前の一人あるいは友人と、自宅あるいは公共の場における飲酒として定義した。</p> <p>方法： 南ドイツの郡部および都市部の高等学校全 31 校の第 9 および第 10 学年 757 名から、データが集められた。研究内容について講習を受けた教師が、参加の意志がある生徒に対してこの研究の背景とどのように調査を行うかを説明し、両親からインフォームド・コンセントを得て、同意した生徒にはオンラインの質問票を用いた調査へのアクセス方法を説明した。質問票には AUDIT の内容も含まれた。</p> <p>結果： 特に頻繁に Predrinking 行動をする者はより危険の多い飲酒や、頻繁に争いに巻き込まれたり、飲酒に起因する意識喪失を経験していた。また彼らは飲酒する際により多くの頻度で酔っ払う意向があった。</p> <p>結論： Predrinking は、特に頻度が高いときは危険な行動であることが明らかになった。この行動は新しい若者の文化の一つでありリスクと関連する特定のグループに限ってみられるものではなかった。</p>		